

1. 件名：「日本原燃(株)での原子力安全、核セキュリティ及び保障措置（3S）のインターフェースにおける取組強化に係る面談」

2. 日時：令和5年11月30日（木） 10時00分～12時25分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室（TV会議により実施）

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

（原子力規制部新基準適合性審査チーム）

古作企画調査官、大橋上席安全審査官、新井安全審査官、小野安全審査官、上出安全審査官、山口係員、横山原子力規制専門員

放射線防護グループ

放射線防護企画課 保障措置室

古川総括補佐、株木首席査察官、山田室長補佐、池亀査察専門職

核セキュリティ部門 2名

青森地域原子力規制総括調整官事務所

服部地域原子力規制総括調整官（青森担当）

日本原燃株式会社

再処理事業部 副事業部長（核物質管理、放射線管理）

再処理事業部 核物質管理部 核物質防護課長 兼 燃料製造事業部 燃料製造事業所 核物質防護グループ 課長

燃料製造事業部 燃料製造事業所 核物質防護 GL 兼 再処理事業部 核物質管理部 核物質防護課 課長

再処理事業部 核物質管理部 核物質管理課長

燃料製造事業部 燃料製造計画部 核物質管理 GL

燃料製造事業部 燃料製造建設所 許認可業務課長（副部長）兼 再処理事業部 副部長（設工認）

再処理事業部 再処理工場 技術部 保安管理課長

濃縮事業部 ウラン濃縮工場 濃縮運転部 運営管理課長 他1名

安全・品質本部 品質保証部長

再処理事業部 再処理工場 前処理施設部 前処理課長

再処理事業部 再処理工場 電気保全部長 他1名

再処理事業部 再処理工場 機械保全部 前処理機械課長

5. 要旨

（1）令和5年11月7日の面談を踏まえ、日本原燃株式会社（以下「日本原燃」という。）から、3Sのインターフェースにおける取組状況及びセル内照明の

全消灯事象に係る報告書の検討状況について、当日の提出資料に基づき説明があった。

(2) 原子力規制庁から、主に以下の点を伝えた。

- ・ タスク間のインターフェースの影響が作用する方向、保安規定等に照らした業務プロセス等の整理を引き続き進めるとともに、本年11月20日に行っている全消灯発生事象に関する面談を踏まえた対応についても必要に応じて反映すること。
- ・ 全消灯事象に関連するタスク以外のタスクについても、これまでに整理した軸となる考え方等を踏まえて整理し、既存の業務プロセスで不足している点等に着目して、タスク間における問題点と対策を整理すること。
- ・ 次回面談では、3S影響評価の運用改善についてもタスク間の関連性を踏まえて具体的な内容を整理して提示すること。

(3) 日本原燃からは、本日の面談を踏まえて対応する旨の発言があった。

6. その他

提出資料

「3Sインターフェースに係る検討の進め方」

「3Sインターフェースに係る検討状況（全消灯事象に関連するタスクを含むタスク全体の検討状況）」

参考

- ・ 令和5年11月7日 日本原燃(株)での原子力安全、核セキュリティ及び保障措置（3S）のインターフェースにおける取組強化に係る面談
<https://www2.nra.go.jp/data/000458832.pdf>
- ・ 令和5年11月20日 日本原燃株式会社再処理工場査察機器監視対象区域における全消灯発生事象に関する面談
<https://www2.nra.go.jp/data/000460913.pdf>